



# 都筑

TSUZUKI Wastewater Treatment Plant

# 水再生センター

## 概要

都筑水再生センターは、鶴見川と鶴見川の支流である恩田川との合流点近くに位置し、都筑区の佐江戸・川和地区、青葉区の市ヶ尾・青葉地区、緑区の中山・長津田地区、旭区の二俣川・東希望が丘地区などを処理区域としています。

当センターは、昭和52年5月に本市で6番目の水再生センターとして、また最初の完全分流式水再生センターとして運転を開始しました。

当センターは、完全分流式水再生センターなので、集められた汚水は水再生センターで処理して、また雨水はポンプで揚水して、各々鶴見川に放流しています。

- 所在地 横浜市都筑区佐江戸町25番地  
TEL.932-2321 FAX.931-8919
- 敷地面積 87,000m<sup>2</sup>
- 処理方式 活性汚泥法による高級処理（一部高度処理）
- 放流水域 鶴見川
- 処理能力

区分	処理面積 (ha)	処理人口 (人)	処理能力 (m <sup>3</sup> /日)
現在	5,505	612,300	(高度処理) 82,800
			(高級処理) 144,350
			計 227,150
計画	8,096	690,000	(高度処理) 336,600

平成23年6月現在

- 汚泥処理 北部汚泥資源化センターへ圧送して処理

## 下水処理区域



平面図



特色

●高度処理

窒素・りん的大幅な除去を目的とした、高度処理を本市で初めて導入しました。平成8年1月より運転を開始

●江川せせらぎ

高度処理した処理水に凝集剤を添加した後、砂ろ過、さらにオゾンにより滅菌消毒した水を、江川せせらぎに放流しています。江川せせらぎは、四季を通じて地域住民の憩いの場として親しまれています。放流量2,500m<sup>3</sup>/日

施設・設備概要

●主要設備

名称	構造数	能力等
沈砂池	巾3.0m×長18m×深2.42m×6池	滞留時間 約58秒
汚水ポンプ	口径900mm×108m <sup>3</sup> /分×2台 口径1,200mm×204m <sup>3</sup> /分×3台	最大揚水量 13.8m <sup>3</sup> /秒
最初沈殿池	巾13.8m×長27.5m×深3.1m×8池 巾13.8m×長27.5m×深3.4m×8池	滞留時間 約1.5時間
反応タンク	巾7.0m×長43.5m×深5.0m×4水路×4池 巾9.0m×長38.0m×深10.0m×3水路×4池	滞留時間 約4.7~6.1時間
最終沈殿池	巾13.8m×長39.0m×深3.6m×8池 巾13.5m×長51.0m×深3.8m×8池	滞留時間 約3時間
接触タンク	巾2.0m×長48.5m×深4.0m×4水路×1池 巾2.0m×長53.0m×深4.0m×4水路×1池	接触時間 約15分
雨水ポンプ (第二ポンプ施設)	口径400mm×21m <sup>3</sup> /分×1台 口径1,000mm×136.8m <sup>3</sup> /分×1台 口径1,400mm×277.2m <sup>3</sup> /分×3台	最大揚水量 16.49m <sup>3</sup> /秒



江川せせらぎ



●都筑水再生センター所管のポンプ施設

名称	所在地	能力
二俣川地下道ポンプ場	旭区二俣川2-65(雨水排水)	1.26m <sup>3</sup> /分
笹野台揚水ポンプ施設	旭区笹野台1-91(汚水排水)	2.0m <sup>3</sup> /分
万騎が原揚水ポンプ施設	旭区万騎が原107(汚水排水)	1.4m <sup>3</sup> /分
鶴ヶ峰本町揚水ポンプ施設	旭区鶴ヶ峰本町2-34(汚水排水)	0.6m <sup>3</sup> /分
南本宿揚水ポンプ施設	旭区南本宿7-15(汚水排水)	0.6m <sup>3</sup> /分